

令和3年9月 第2回定例会 一般質問

日本維新の会の松岡洋司でございます。

まず初めに、市議会の場で質問する機会を与えていただきましたことに対しまして、市民の皆様にご心から感謝申し上げます。

先輩、同僚議員の皆様におかれましては、しばらくの間ご静聴を宜しくお願い申し上げます。

私は15年近く地域の活動を行ってききましたので、地域目線での質問を中心にさせていただきます。

令和3年9月 第2回定例会 一般質問

【1回目登壇】

1. まず初めに、地域コミュニティの維持拡大と地域所有の福祉会館の維持管理について質問させていただきます。

地域コミュニティについて、尼崎市総合計画 後期まちづくり基本計画の施策に、

〈地域コミュニティ みんなの支えあい地域が元気なまち〉とあり

施策の展開方向として、

〈地域活動の促進により、安全・安心で魅力的な地域社会の形成に 取り組みます〉とあります。

そして施策を考える背景にも明記されていますように、地域コミュニティを維持拡大するための課題がたくさんあり、尼崎市としても課題解決のための取り組みをして頂いています。しかし地域としては尼崎市の取り組みについて実感がなく、具体的な施策が講じられてきたように感じられません。施策の作成段階で地域の現状や意見等が反映されたのか、疑問を感じます。

令和3年9月 第2回定例会 一般質問

実際、福祉協会への加入率は年々減少し、現在も歯止めがかかっていませんし、それどころか脱退される方も増えています。そして地域の次世代の担い手の育成について尼崎市のサポートがあったとも感じられません。地域コミュニティに関する施策に関して、尼崎市総合計画が実行性のある計画であるのか疑問を感じます。

福祉協会としても行政の施策に頼りっきりでなく、それぞれの地域での課題である、加入率、次世代の担い手、活動資金の問題について考えてきました。

加入率については、加入する事によるメリットが明確に説明できない、加入してもらおう事による地域のメリットがほとんど無い、加入者が増えれば地域の負担だけが増えるだけではないか、それらの理由で加入促進に前向きになれないという事が、加入率の減少に歯止めがかからない要因の一つになっています。

次世代の担い手は、若い世代にとっては、休みの日に無報酬での地域ボランティアをするより、自分の時

令和3年9月 第2回定例会 一般質問

間・家族との時間が大事と考えるのが普通でしょう。地域の皆様のボランティア精神だけに頼るのにも限界があります。

活動資金ですが、地域活動を行うための会費以外の自主財源がないということが最大の課題になっています。

地域活性化のためのイベントを行う資金、地域所有の福社会館の年間維持管理費と老朽化によるメンテナンス費が必要で、地域所有の福社会館は約200カ所あり、同様の問題を抱えていると思います。

そこで3つ質問させていただきます。

①福祉協会というのは全世代対象に活動していますので、全世代対象に活動する事が出来る、助成金の制度があれば、活動資金の問題解決の1つになると私は考えていますが、尼崎市としてその提案についてどのように思われますか？

地域活動の資金が無いのであれば、地域活動をしなくてよいという考えでしょうか？お聞かせ下さい

令和3年9月 第2回定例会 一般質問

い。

- ②地域の福祉会館の維持管理費と老朽化によるメンテナンス費を尼崎市には是非助成して頂き、今後地域活動の拠点として維持していくべきと私は考えていますが、尼崎市としてはどのようにお考えでしょうか？

自助努力で維持できないのであれば手放すべきとお考えでしょうか？お聞かせください。

- ③尼崎市の未来を考えた時、今後の街づくりの展開として加入率の下がってきている「福祉協会」を、尼崎市として必要と考えているのでしょうか？
明確にお聞かせください。

令和3年9月 第2回定例会 一般質問

次に

2. 小学校の通学路における子どもの見守り活動について質問させていただきます。

市内の小学校では長年にわたり地域の方々が小学生の登下校の安心安全のために見守り活動を行って頂いています。先日、活動団体数・人数・保険加入状況を確認しようと思い教育委員会に問い合わせたところ、地域で自主的に活動しているので「把握していません、所管部署もありません」という回答でした。非常に残念な回答で、地域の皆様に申し訳ない思いになりました。

そこで2つ質問させていただきます。

- ①長年市内の小学生が地域の見守り活動団体「子ども見守り隊」にお世話になってきたにも関わらず、行政としてなぜ活動実態を把握してこなかったのか、理由を教えてくださいませんか？
- ②地域の見守り活動団体「子ども見守り隊」を尼崎市独自に制度化し、活動保険に加入するなど尼崎市

令和3年9月 第2回定例会 一般質問

がサポートする必要があると思いますし、活動団体も期待していると思いますが、どの様にお考えでしょうか？

必要ないと言うのであれば、「活動団体」に対し「尼崎市としては関知いたしません」と明確に伝えるべきではないでしょうか？

令和3年9月 第2回定例会 一般質問

次に、

3. 指定避難場所になる市内41カ所の小学校における物資・設備等について質問させていただきます。

近年地域においても自然災害に対する危機意識が高まってきていましたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延で地域活動自粛を余儀なくされ、避難訓練など出来ない状況が続いています。そのような状況ですが地域の皆様にとっては、指定避難場所での、備蓄品、避難所の環境について関心を持っています。

確認したところ備蓄品は市内1地区につき2校に配置され計12校に配置されていて、環境は教室には空調設備はあるが、体育館にはスポットエアコン2台と大型送風機4台を設置しているということでした。長期間の避難になれば体育館がメインの避難場所になりますので、特に夏場は非常に厳しい環境になると思われま

そこで2つ質問させていただきます。

① 指定避難場所となっている市立小学校全校に備蓄

令和3年9月 第2回定例会 一般質問

品が配置されていませんが、配置されていない避難場所には避難場所開設時どのように配布するのか？

今後全校に備蓄品を、私は配置するべきと思いますがいかがでしょうか？お聞かせください。

- ② 過去にも要望があったのではないかと思います、近年の夏の暑さや体力の弱い方の事を考えると、指定避難場所である小学校体育館に空調設備を早急に設置する必要があると私は考えますが、今後どの様にお考えでしょうか？お聞かせください。

以上で、1回目の質問を終わります。

令和3年9月 第2回定例会 一般質問

【2回目登壇】

答弁をいただき、ありがとうございました。

次に、

4. 動物愛護に関して負傷動物と保護動物について質問させていただきます。

新型コロナウイルス感染症が蔓延し始めた昨年より、出勤者7割削減要請や不要不急の外出自粛要請などにより、家にいる時間が長くなり、一時的な感情により安易にペットを飼う人が増えている一方で、飼ってはみたものの世話が大変などの理由で“飼育放棄”されるペットの数も急増しています。新型コロナウイルス感染症が収束し以前の生活に戻れば、飼育放棄される動物がさらに増え、市内を徘徊する動物の交通事故や、虐待などで負傷動物が増えるのではないかと思います。現在尼崎市では飼い主のわからない負傷動物を市内の負傷動物救急指定病院に運び込むと応急処置が受けられ、尼崎市と尼崎市開業獣医師会の委託契約により、哺乳類7,900円、鳥類3,650円を支払われていますが、軽傷

令和3年9月 第2回定例会 一般質問

ならそれで応急処置が出来るでしょうが、重症なら安楽死させるのが精一杯ではないでしょうか。もう少し委託料を増額し、助かる可能性のある命があるならば、助けるべきと私は考えます。

現在、尼崎市動物愛護センターでは収容できる犬が6匹、猫が15匹で、来年度猫の収容数を30匹に増やす予定になっており、現在の職員体制、常勤職員4名、内獣医師3名、飼育員4時間勤務が1名、計4.5人体制では、動物愛護法の改正等による業務の増加や、収容数を増やす事による飼育業務の増加に対応するには、厳しいのではないのでしょうか。現在コロナ渦で大変な時に、動物について考える必要があるのかといったご意見もあるとは思いますが、負傷動物・保護動物の問題は人間の身勝手な行動により発生する問題です。「動物は命あるもの」であることを認識し、人間と動物が共に生きていける社会にするためにも、問題解決に向けて努力するべきだと私は考えます。

尼崎市には動物をこれまで同様、物ではなく命を扱っ

令和3年9月 第2回定例会 一般質問

ている事を再認識して頂き、適正に管理・監督して頂きたいと思います。

そこで2つ質問させていただきます。

① 負傷動物に応急処置をした負傷動物救急指定病院に支払われる1頭あたりの治療費の上限が、現状では少ないと思います。救える命を救うために増額するべきと私は考えますが、いかがでしょうか？

増額してまで、動物の命を救う必要はないでしょうか？

② 来年度から動物愛護センターの業務量が増えると思うのですが、保護動物を適正に管理するのに、現在の職員体制で対応出来ますでしょうか？西宮市では獣医師5名を含む常時8人体制だそうです。尼崎市も同じくらいの職員体制にするべきと私は考えますが、いかがでしょうか？

令和3年9月 第2回定例会 一般質問

次に、

5. 尼崎市モーターボート競走場について質問させていただきたいと思います。

尼崎市モーターボート競走場は戦後の復興資金調達が必要だった時代、地方財政の改善を目的とする公営ギャンブルの誘致合戦が繰り広げられている中、防潮堤建設工事によって多額の財政赤字が発生し、新たな収入源を模索していた当時の市長によって、現在の場所に誘致する事が出来ました。当時その場所は蓬〔よも〕川から武庫川にかけての阪神沿線北側に広がっていた大庄湿地帯で、ごみ問題やハエ・カの発生源となり環境衛生問題があった場所で、競艇場誘致により財政問題と環境衛生問題の両方を解決する結果となりました。オープン以来、毎年度順調に収益をあげ、不足する学校施設の建設をはじめとする市の公共施設整備財源として、長年にわたり市財政に貢献してきました。一般会計への繰出し金は平成2年度の175億円をピークに、平成22年度は2億円にまで落ちこみ

令和3年9月 第2回定例会 一般質問

ましたが、それから現在まで入場者数は減少してはいますが、電話投票など舟券の購入方法が多様化したことにより、売上は徐々に回復し、現在までの累計で3,400億円を繰出してきました。これらの数字を見てもわかりますように、尼崎市モーターボート競走場は尼崎市の財政にとって、とても重要で必要不可欠な施設であることを、再認識いたしました。

これだけ貢献してこられたのは歴代職員の皆様の努力と競走場周辺地域の皆様のご理解とご協力があったからこそです。

現在競走場では令和4年春の完成を目指し、「老朽化施設の撤去と施設のコンパクト化」と「新しいファン層を誘客できる魅力ある快適な施設 環境の確保」の方向性に基づいて、40億円近くを投じ改修工事を行っています。メインスタンドの改修工事はほぼ完了していますが、新しいファン層を誘客するという目的から考えると不十分で、女性客に喜んで頂くにはスタンド内の内装など、今後も継続的に整備していく必要

令和3年9月 第2回定例会 一般質問

があるのではないかと考えます。

敷地面積 43,000 m²、収容人数 17,000 人の競走場は、年間レース開催日数 186 日と1年の半分しか開催していないことから、残りの半分に様々な可能性を秘めていると思います。

今後より一層、尼崎市の財政に貢献するためには、競走場の新たな活用方法などを積極的に考え取り組んでいく必要があるのではないのでしょうか。

そこで3つ質問させていただきます。

- ① 2021年開催のSGレースの売上は平均約150億円となっており、SGレース獲得は非常に重要です。2022年はオーシャンカップの開催が決定していますが、今後グレードレース獲得には市長によるトップセールスが必要と思いますが、いかがでしょうか？
また、市長によるトップセールスのほかに何か戦略がありましたら、教えて頂けますでしょうか？
- ② お客様に気持ちよく過ごしていただくのに、さらなる施設整備が必要ではないかと思いますがいか

令和3年9月 第2回定例会 一般質問

がでしょうか？

- ③年間約 180 日のレース非開催日の施設の有効利用について、スポーツやコンサート等のライブビューイングを私は考えていますが、今後非開催日の施設の有効利用について何か具体的なアイデアがあれば教えて頂けますでしょうか？

以上で、私の質問を終わります。

ご清聴ありがとうございました。